



INDEX

- かわいい庭を考える - 3 ..... 1~3
- エクステリアコンテスト入賞店発表 ..... 4~9
- 事例ノート ..... 10~12
- Exterior Color Seminar 色はいろいろ ..... 13~14
- 2004エクステリア商品展示会紹介 ..... 15~18
- 御庭会通信 ..... 裏表紙
- 御庭番スタッフ紹介 ..... 裏表紙



表紙  
 “プライバシー・採光・通風”空間  
 ガーデンコート「マイパティオ」  
 プライバシーを確保したリラクゼーションスペースを提案する、スタイリッシュな“パティオ”。  
 ...4種のパネルを自在に組み合わせてお庭に開放的な空間を実現する、ニュースタイルのコートです。

# かわいい庭を考える③

## 演出の庭

高崎 康隆  
 高崎設計室有限会社 代表取締役・石組師

### 緊張感と開放感

借景の庭として有名な京都の円通寺庭園で、30年前に若い就職から聞いたことですが、この庭園に配置された庭石は40数石あり、そのほとんどが紀州の海石であるそうです。庭に向かって左から中央へと庭石が配されて、右手は余白。この左右の庭石の密度差が緊張感を生み出しています。なぜ海石を選んだのかはわかりませんが、庭の外の竹林が風を受けてざわめくときの音は、潮騒に聞こえるのであるという話を伺ったことで、一気にこの庭のリアリティを感じました。

同じく京都の借景庭園である正伝寺庭園は、ツツジの刈り込みがあるほかは、白砂敷の枯山水庭です。円通寺と同じく比叡山を借景していますが、円通寺とは逆に頂上から左の山並みを切り取って庭に取り入れています。庫裏から廊下を歩いて、方丈の横から正面へと進むと、眼前に大きな空が広がります。円通寺の庭が天井と畳により、上下の景を切り取って空を少しだけみせているのとは、これも対照的です。円通寺には緊張感があり、正伝寺には開放感があります。同じ比叡山を借景しても、演出の仕方で全く印象は異なるものです。



正伝寺庭園は、「空の借景」と呼びたいほどの開放感がある。



円通寺庭園は比叡山の頂上から右の山並みを取り入れている。



『千夜一夜物語』にもたびたび登場するアラビアの国イエメンの伝統建築。窓には円形、半円形の漆喰作りのステンドグラスが嵌め込まれている。この窓は「カマリーヤ」と呼ばれ、月を意味する。夜、部屋の中へ月光を導くための明り取り窓であると、イエメン人建築家が教えてくれた。乾燥して植物も少なく日中は土色の街も、日が落ちるとステンドグラス「カマリーヤ」から数々の色がこぼれ出て、アラビアンナイトの世界が活気付く。この「カマリーヤ」は、イエメンの新しいホテルなど現代建築にも受け継がれ、街全体が夜の庭とも呼ぶべき情景に変化するための演出装置である。

高崎 康隆氏  
 東京農工大学農学部林学科自然保護研究室卒業  
 京都大学農学部林学科造園学教室研修員、総合庭園研究室勤務を経て国際協力事業団派遣専門家として、北イエメン都市省へ  
 西洋環境開発環境形成部課長在職後、高崎設計室有限会社を設立  
 英国王立園芸協会、日本造園学会会員  
 千葉大学、京都造形芸術大学非常勤講師

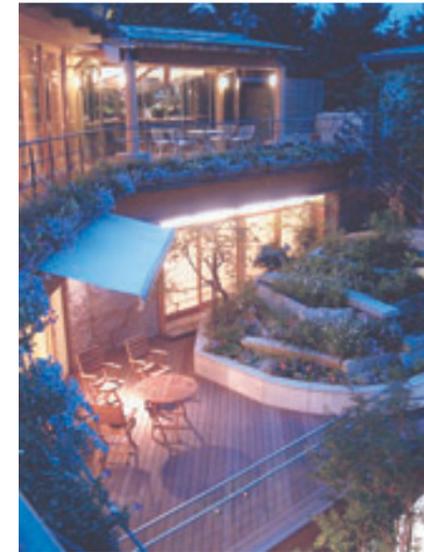
著書 主婦と生活社「自分でつくるわが家の洋風ガーデン」  
 「自分でつくる楽しい庭のデザイン」

### 意表をつく演出

銀閣寺庭園には白砂のモニュメントがあります。円錐台に盛られた「向月台」と、<sup>ほうきめ</sup> 箒目の引かれた「銀沙灘(ぎんさだん)」は名前を知らなければモダンアートと思える造形です。

夜。銀閣から東の「月待山」を眺め、その麓に位置して築かれた庭の「洗月泉」と呼ばれる滝の音を聴き、白砂のモニュメントに月光が降り注ぐ様は、想像するだけで

かわいい、心躍る、一度は見てみたい庭の演出です。京都清水寺の成就院庭園は池の中島に有名な奇石「烏帽子岩」や石灯籠があり、風変わりな庭園意匠といえるかと思いますが、この庭園の最大の魅力は夜の演出です。庭の外、正面に見える山中に石灯籠が1基置かれてあり、火袋に灯りがともされると、闇の中、一気に庭の空間が限りなく広がりをもちます。



照明が場を作る。



光源は電気以外にも、ロウソクやオイルランプなど身近なものが活躍する。懐中電灯だって十分有効だ。

### 景観構造を変化させる照明

仕事をもつ人には、夜がホッとくつろげる大切な時間です。特に周辺環境の影響を受けやすい都市の住宅庭園では、周辺が闇に包まれる夜、照明が庭の可能性を大きく広げてくれます。また、クリスマスの季節には住宅庭園をイルミネーションなどで飾る習慣が各地で定着しつつあります。小さい子供のいる家族では、前庭にモミヤトウヒなどを植栽して、照明も工夫を凝らし、思い出に残る季節の情景を演出してはいかがでしょうか。七夕のために竹を植えておくアイデアもあります。

照明は照らす対象があって初めて意味を為す技術です。そして、全体のバランスにより効果を発揮するデリケートなシステムの技術です。また、新しい光源であるLEDの普及などによって、これからも大きく変化する技術であると言われていています。そのようななかで私の一番の興味は、光が空間そのものの構造を劇的に変化させる力を持つことです。太陽光線は常に上方から均一に降り注ぐものであり、この光によって通常の私たちの視覚認識が成立しているのに対し、照明の光は横から、下から、斜めからと、全く異なる視覚体験を与えてくれます。照明計画には、電気器具以外にもロウソクやランプの炎も取り入れて考えると、一層豊かな夜のガーデンライフが楽しめることでしょう。



ピクニックシートと電気スタンドを庭に持ち出して、季節を味わう。



動き・音・時間。水と照明は効果的な演出を提供する。



ウォールが曲線を描いているため、光源の位置と光の方向を少し移動するだけで、もの見え方が変化する。